



足立区議会だより

足立区議会事務局 〒(882)1111 No.89



議長に森信雄議員 副議長に宮原進議員 就任

第11回 臨時議会

区長提案すべて可決

今臨時議会に区長が提出した議案は契約四件、専決処分した事件(特別区税条例の一部改正)の報告及び承認一件でした。

これらはすべて総務委員会に審査を付託しました。このうち契約議案四件は、総務委員会審査報告のとおり、全員異議なく可決し、専決処分した事件は、賛成多数で承認しました。

常任委員の構成かわる

足立区議会の各常任委員会委員の任期は一年で、五月二十七日に任期満了となりました。このため、議長が新たに委員を指名しました。(委員名簿は二ページに掲載)

行革調査特別委を新設 特別委の定数変更

今臨時議会では、行政改革の総合的調査研究を行うため、新たに行政改革調査特別委員会(定数十四名)を設置しました。

また、既設の三特別委員会



子ビッコ相撲大会

足立区議会は、昭和六十年第一回臨時議会を五月二十八日(会期一日)に開き、区長提出議案四件、専決処分した事件一件を審議しました。今臨時議会ではこのほか、正副議長選挙、行政改革調査特別委員会の新設及び常任委員並びに一部委員の辞任に伴う特別委員の選任、監査委員の選任同意、農業委員の推せんがありました。また、特別市構想調査、交通機関誘致対策、駅前再開調査の三特別委員会が中間報告をしました。

の定数を変更し、特別市構想調査特別委員会を定数十四名に、交通機関誘致対策特別委員会を定数十三名に、駅前再開調査特別委員会を定数十三名にしました。

正・副議長かわる

鈴木進議長、向後昭三副議長は五月二十八日に辞職しました。議会は議長、副議長選挙を行い、この結果、議長に森信雄議員、副議長に宮原進議員が当選し、就任しました。

監査委員の選任に同意

議会選出の監査委員安達正興議員、長塩英治議員の退職

各党・会派の幹事長などに一部変更

今回、各党・会派の一部に幹事長等の交代がありました。各党・会派の名称、幹事長等の氏名は次のとおりです。

- 自由民主党足立区議団(十三名)
 - 幹事長 藤木二幸
 - 副幹事長 浅田良作
- 自民党第一区議団(十三名)
 - 幹事長 杉山秀雄
 - 副幹事長 長塩英治
- 足立区議会公明党(十二名)
 - 幹事長 須賀寿雄
 - 副幹事長 逸見英幸
- 民主クラブ(四名)
 - 幹事長 須賀寿雄
 - 副幹事長 逸見英幸
- 日本共産党足立区議団(九名)
 - 幹事長 向後昭三
 - 副幹事長 飯田豊彦
- 同 忍足和雄

の定数を変更し、特別市構想調査特別委員会を定数十四名に、交通機関誘致対策特別委員会を定数十三名に、駅前再開調査特別委員会を定数十三名にしました。

農業委員に三議員推せん

議会選出の農業委員は、滝井兼彦議員の逝去により、一名が欠員になりました。また島崎義雄議員、杉山秀雄議員の解任請求を決定したため、後任に河合平内議員、巻田清治議員、藤波正寿議員を推せんしました。

三特別委員会が中間報告

特別市構想調査、交通機関誘致対策、駅前再開調査の三特別委員会が、現在調査研究中の事件の中間報告をしました。(内容は二ページに掲載)

就任 あいさつ



副議長 宮原 進

議長 森 信雄

去る五月二十八日の臨時区議会におきまして、議員各位の御賛同をいただき、議長、副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、責務の重大さを痛感いたしております。

このような状況のなかで、議決機関の果たす役割は重要であり、その立場を十分認識し区民の皆様の負託にこたえる議会運営に専心努力いたす所存であります。

可決した議案

概要

- ▼請負契約(指名競争入札)
 - 金額○相手方
 - 千住五丁目児童館・老人館
- ▼(仮称)新築工事
 - 一億七千五百万円
 - 田中建設工業株式会社
 - 第十五中学校体育館改築その他の工事
- 二億一千八百万円
- 株式会社 新井組
- 花畑中学校体育館改築その

滝井兼彦議員逝去

区議会議員滝井兼彦氏(享年六十四才)は、病氣療養中のところ薬石効なく、五月四日逝去されました。同氏は昭和四十六年区議

意見の分れた案件

| 件名 | 会派名 | 賛成 | 反対 | 結果 |
|---------------------------------|----------------|----|----|----|
| 専決処分した事件の報告および承認について(区税条例の一部改正) | 自由民主党 足立区議団 | ○ | | 承認 |
| | 自民党第一区議団 | ○ | | 承認 |
| | 公明党 | ○ | | 承認 |
| | 共産党 | × | | 承認 |
| | 民主クラブ | ○ | | 承認 |
| | 社会党 | ○ | | 承認 |

(注) ○賛成 ×反対

三特別委員会が中間報告

財政調整制度の計画的・安定的な改革を望む

特別市構想調査特別委員会

一、調査の経過
本特別委員会は、昭和五十九年六月七日に都制度調査会が都知事に報告した「新しい都制度のあり方」について講師を招き、理解を深めるとともに、「特別」市構想との比較検討、あるいは第二回都制度検討委員会が提起した都制度改革の基本方向(検討素材)に基づいて調査研究を進めてきた。

二、調査の内容

都区制度改革は昨年、都制

「交通施設のとのつた便利なまち」実現の牽引車に

交通機関誘致対策特別委員会

一、調査の経過

本特別委員会は、鉄道網・バス路線等を含む区内全般にわたる交通網の整備及び誘致促進方について調査研究を進めてきた。特に交通網整備の要である鉄道は、関係各機関への積極的な要請活動を通じ、新線誘致を強力に働きかけてきており、その実現に向けて大きく前進をみている。

二、調査の内容

現代では、整備された交通機関は快適な都市生活を送るために不可欠の条件であり、公共的機関による移動が不便であることは、それだけ快適な生活に対する大きな障害になっている。
以上のような基本的認識から当区の現状を見ると、西北部、北東部は全くの交通過疎

に伴う配分機関のあり方等について、活発な審議を重ねてきた。

この間区当局は、都制度改革の検討素材に対する基本的考え方を打ち出した。これにも討議を重ねるとともに、各党各会派内での協議を要請した。その結果、区の基本的考え方に対する一定の意見集約をみた。その要旨は、

都区制度に関しては、足立区の基本的考え方におおむね賛意を表す。しかし、調整財源に頼らざるを得ない当区の財政事情を考えた場合、行政水準の低下は許されるもの

また、近い将来における交通難解消の切り札としてクローズアップされている新交通システムについても「ユーカリが丘線」(千葉県佐倉市)を視察し、その省人化・省力化による低コスト性には、当区も大いに関心を寄せるべきとの点で意見が一致した。

なお、懸案の常磐線中距離電車の北千住駅停車は、本委員会でも関係各方面に強力に要望してきた。これが駅ビル

でなく、財政調整制度の改革には計画的・安定的な制度改革を望む等が主なものであった。ただし、広域・狭域自治体の二層制の問題、財調における公的機関設置の問題等意見の相違も見られた。

また一方、区長会、議長会、特別市制調査特別委員長会でもそれぞれの立場から制度改革に対する見解が発表され、いよいよ本格化の様相を呈してきた。

本委員会の今後の方向は、こうした状況を踏まえ、究極の目的である区民福祉の向上につながる制度改革に向け、なお一層の調査研究を進め、当区議会として一定の意見をとりまとめる段階に近づきつつあると考える。

来るべき二十一世紀へ向けて「交通施設のとのつた便利なまち」の実現には、住民・議会・区が一体となり、より一層の努力を重ねることが肝要で、本委員会はその牽引車としての役割を果たすべく、今後も積極的な調査研究を続けるべきである。

事業推進には、区民・関係機関の協力体制の確立を

駅前再開発調査特別委員会

一、調査の経過

本特別委員会は、駅前及び周辺地区の総合的な再開発により良好な環境整備を行い、調和のとれた住み良い街づくりに向けて調査研究を進めてきた。

二、調査の内容

北千住駅は本年三月、北千住駅ビル「ウイズ」のオープンにより、名実ともに足立区の玄関口として国鉄・私鉄・

足立区議会委員会名簿

(昭和60年6月10日現在)

| 委員会名 | 委員氏名 | (◎委員長 ○副委員長) |
|-----------------------|---|---|
| 常任委員会 | 総務委員会 (定数10名) | ◎石川純 ○河合平内 ○五十嵐英生 鈴木進 藤木二幸 藤波白川 小野由人 小野実 平沢太郎 小久保雅捷 |
| 区民委員会 (定数9名) | ◎斉藤八郎 ○卷田清治 ○逸見英幸 安達正興 上野野川 政信 今井重利 西口喜代志 瀨川三則 | |
| 厚生委員会 (定数10名) | ◎渡辺修次 ○鈴木金治郎 ○八田正和 清水大蔵 森中川 信行 岡安孝 鹿浜清 大神賢次 中川 | |
| 土木委員会 (定数9名欠員1名) | ◎荒井正 ○渡辺穂 ○友利春久 北詰光男 浅田良作 杉山秀雄 向後昭三 石川千代子 | |
| 都市環境委員会 (定数9名) | ◎浜崎健一 ○菅原勲 ○田中章雄 島崎義雄 上田直樹 宮原進 渡辺康信 長塩英治 高島 | |
| 文教委員会 (定数9名) | ◎瀬田富男 ○忍足和雄 ○藤沼壮次 井上市三郎 伊原光一 須賀寿雄 飯田豊彦 野中栄治 針谷幹夫 | |
| 特別委員会 | 特別市構想調査会 (定数14名欠員1名) | ◎高島直樹 ○飯田豊彦 ○瀬川三則 鈴木進 藤木二幸 藤波白川 五十嵐英幸 小久保雅捷 渡辺康信 渡辺修次 逸見英幸 川下政信 |
| 交通機関誘致対策特別委員会 (定数13名) | ◎中川外行 ○今井重利 ○西口喜代志 鈴木金治郎 島崎義雄 伊原政信 伊原政信 八郎 向後昭三 河合平内 針谷幹夫 須賀寿雄 藤波白川 瀨田富 | |
| 駅前再開発調査特別委員会 (定数13名) | ◎石川千代子 ○鹿浜清 ○上田二郎 北詰光男 安達正興 八田忍 荒井長塩 大神賢次 田中章雄 大島芳江 長塩英治 浜崎健一 | |
| 行政改革調査特別委員会 (定数14名) | ◎白川由人 ○小野実 ○上野登 清水大蔵 井上市郎 浅田菅原 野中栄治 石川清治 藤波平沢 岡安孝 友利春久 菅原勲 卷田清治 大正太郎 | |
| 運営委員会 (13名) | ◎井上市三郎 ○向後昭三 ○菅原勲 藤木二幸 浅田良作 安達忍 清水大蔵 鈴木進 飯田豊彦 中川外行 | |

地下鉄が乗り入れる首都圏有数のターミナル駅となった。
一方、北千住駅西口北地区再開発事業は、昨年十二月に同事業の権利変換案の見直し案が発表された。これにより地権者全員に都市計画審議会への案件提出に向け、合意を得るべく努力中であるが、現段階では、権利者九十二名中、六十八名の仮同意書を受けたにとどまり、全員同意型で進める方針からは、更に一層の努力が必要であり、同意を得られない原因等を調査研究する必要がある。
これに加え、本年二月二十六日開会の本委員会で、第三セクター方式の報告が執行機

関からあり、協議の結果、五月十五日の委員会で設立を基本的に了承するとともに、内容は今後も引き続き調査する必要がある。
この他、保留床の利用形態の問題も議論を進める必要がある。
また、綾瀬一丁目地区再開発事業では公的施設を含んだ地上十四階地下一階建てのビル建設工事が昭和六十二年三月の完成に向けて進められている。なお、並行して五反野・西新井・竹の塚駅周辺の再開発事業も調査を進めて行くべきである。
今後、再開発事業を推進していく上で、防災、道路交通等の整備促進に留意し、住民、区及び議会相互の連絡を密にした協力体制を確立させる方向で、調査研究を継続することが望まれる。

編集後記

編集委員

▲第八十九号「区議会だより」をお届けいたします。
▲今臨時会で、議会人事の改選がありましたので、改選後の議会構成及び三特別委員会の中間報告を主として、編集いたしました。

▲今号より、私共が編集に携わることになりました。よろしくお願いたします。

議長 信雄
副議長 進
井上市三郎 向後昭三
藤木二幸 飯田豊彦
浅田良作 菅原勲
杉山秀雄 須賀寿雄
長塩英治 中川外行

